

2号機の使用済燃料プールにおける異物の発見および回収について

<概要>

(事象の発生状況)

- 平成22年4月16日、運転中の2号機の使用済燃料プールにおいて、プールの底にボルト等の異物を発見し、同日中にすべて回収しました。
- 回収した異物は、ボルト2本、ワッシャー1個、糸くず2本、金属片1枚でした。

(今後の対応)

- 回収したボルト等の特定を含め詳細に調査します。
- 確認されたボルト等による使用済燃料等への影響はないものと考えておりますが、引き続き、使用済燃料プールへの異物混入防止対策を徹底してまいります。

(公表区分)

- 本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成22年4月16日午前10時10分頃、運転中の当所2号機（沸騰水型、定格出力78万4千キロワット）の使用済燃料プールにおいて、原子炉内を点検する際に制御棒等を納めるラックをキャスク*置き場に入れるための事前確認作業として干渉物を天井クレーンで移動した後に、水中カメラを用いてキャスク置き場の寸法測定を実施していたところ、当社社員がプールの底にボルトを1本発見しました。

そのため、水中カメラで詳細に確認したところ、さらにボルト1本、ワイヤーらしきもの2本、ワッシャーらしきもの1個を発見しました。

当日午後5時30分までに、発見したボルト等は掴み治具と水中ポンプにてすべて回収しました。回収したものは、ボルト2本（直径約0.5cm、長さ約3cm）、ワッシャー1個（直径約2.5cm、厚さ約0.1cm）、2本のワイヤーらしきものは糸くずであることを確認しました。

なお、回収物の中に金属片1枚（縦約1.5cm、横約2.5cm、厚さ約0.1cm）が含まれていたことも確認しました。

また、回収作業終了後、目視にて同様の異物がいないことを確認しました。

2. 使用済燃料プール内に保管されている使用済燃料等への影響

使用済燃料プール内の水の流れは穏やかであり、プールの底で確認されたボルト等が移動する可能性は低いことから、使用済燃料等への影響はないものと考えています。

3. 今後の対応

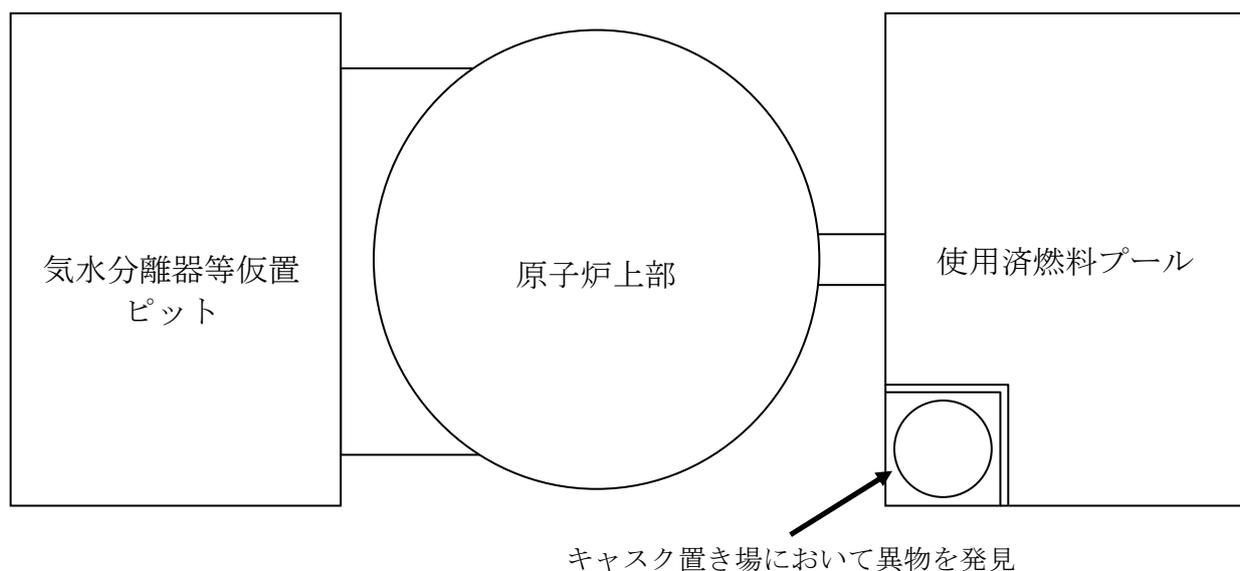
今後、回収したボルト等の特定を含め、詳細に調査します。

引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。

以上

* キャスク

使用済燃料等の搬出のための容器。



原子炉建屋5階平面図



回収された異物

- ・ボルト : 2本 (各直径約 0.5cm、長さ約 3 cm)
- ・ワッシャー : 1個 (直径約 2.5cm、厚さ約 0.1cm)
- ・糸くず : 2本 (長さ約 2 cm、長さ約 5 cm)
- ・金属片 : 1枚 (縦約 1.5cm、横約 2.5cm、厚さ約 0.1cm)

2号機 使用済燃料プールにおいて回収された異物